

武蔵野市小中連携教育推進委員会報告書について

本報告書は、第二期武蔵野市学校教育計画（平成 27 年度～31 年度）にある「小中連携教育をさらに進めた小中一貫教育の導入の是非」を検討するために、教育委員会内部に武蔵野市小中連携教育推進委員会を設け、協議した内容をまとめたものです。

本推進委員会からは、教育指導面で小中一貫教育を導入することは有効であるという結論が得られたため、本報告書には、小中一貫教育を進める上での具体的な用語や取組内容等が想定され記述されています。しかし、これらはあくまでも本推進委員会が研究した結果であり、今後、教育委員会としての方針を定めていく上での一つの考え方であることをご理解いただければと思います。

教育委員会としましては、今後、シンポジウムや意見交換会を通して、市民の皆様から様々な意見を頂戴した上で小中一貫教育の実施について、その可能性を検討してまいります。また、併せて平成 28 年度以降の「小中一貫教育検討委員会（仮称）」の設置と、平成 29 年度以降の研究協力校の指定により具体的に検討を進めていく予定です。

平成 28 年 4 月

武蔵野市教育委員会